

2013 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 5 回議事録

日 時 : 2013 年 12 月 9 日(月)14 時 00 分～17 時 00 分
場 所 : 南山大学 名古屋キャンパス R 棟
出席者 : 太田(名古屋芸術)、伏見(名古屋経済)、小木曾(愛知)、八鳥(名古屋外国語)、
広田(中部)、木村(愛知学泉)、田中(金城学院)、天野(椙山女学園)、石田(南山)、
水谷(東海学園)、松原(中部学院)、柴野(名古屋商科)、小林(愛知医科)、
中田(名古屋学院)、山田(名古屋学院)、(中村(名古屋芸術:主幹事校 事務担当))
欠席 : 立野(名古屋芸術) 敬称略

議事に先立ち、今回より運営委員に加わった愛知医科大学の小林委員が紹介された。また、改めて全員の自己紹介を行った。

議題

1. 2014 年度実務担当者研修会について

柴野委員より、資料に基づき説明があった。決定事項の確認と、講演者との交渉の中で打診のあった項目について協議した結果、下記の方針で進めていくこととなった。

- ①日 時 2014 年 9 月 11 日(木)12 日(金)の 2 日間 <日帰り>
- ②会 場 名古屋学院大学 名古屋キャンパス 白鳥学舎
- ③対 象 本協議会加盟館に勤務する実務担当者
- ④テ ー マ 学習支援のために図書館ができること
- ⑤講演者およびグループワーキング講師 別紙のとおりほぼ決定
- ⑥事前課題 (1) 共通フォーマットワークシートによる自館分析、選択理由(背景)、期待される効果(仮目標)等の記入→全グループ
(2) 講師と担当者の判断→各グループワーク
- ⑦到達目標 ⑥(1)のワークシートに成果(仮目標→目標設定)記入
- ⑧事後研修 研究会にてポスターセッション等の方法で報告を行う

今後は各担当者において、ワークシートのフォーマット作成、各グループワーク講師との内容の詰め(事前課題を含む)、および加盟館送信用の内容詳細案の作成を、2 月の運営委員会までに完了することとした。

引き続き中田委員長より、資料に基づき研修会経費の概算について説明があった。今回は宿泊を伴わない研修であること、加盟館のみが対象となっていること、などを踏まえて、できるだけ参加費を抑えるという観点から、協議会より補助金を支給したいという提案が出され了承した。これに伴い、常任幹事会で予算の増額を要求する。

2. 2014 年度研究会について

八鳥委員より、資料に基づき提案と説明があった。学修支援をテーマに 2 回にわたって実施し、第 1 回は講演、第 2 回は事例発表をメインに開催することとした。講師の候補と内容について協議を行い、さらに次年度主幹事校にて検討を加え再度立案することとなった。

3. 見学会について

伏見委員より報告があった。

『館灯』掲載用の見学会記録の作成が終了した(全4ページ)。中田委員長から千葉大学に内容確認を依頼し、修正後運営委員に回覧する予定である。

4. アンケートについて

八鳥委員より47館65件を回収したとの報告があった。

『館灯』への掲載は、1ページ2件の予定でレイアウトを作成したが、小さくて見づらいという意見が出され検討した結果、1ページ1件(モノクロ)の掲載にして、再度見積り依頼とレイアウトの変更を行うことになった。アンケート掲載順リストについては、変更後運営委員に回覧する。

5. ウェブサイトについて

石田委員より、前回以降の作業と、年度末更新の変更および新規カテゴリの担当者について報告があった。

また、『館灯』のデータ掲載にあたり、下記の2点について了承した。

- ・「私立大学図書館協議会」という誤植を「私立大学図書館協会」に修正する。また、今後明らかな誤植は適宜修正する。
- ・「申し合わせ」「会則」等の項目の表記を「規程」に統一する。

6. 『館灯』について

①太田委員より、報告と依頼があった。

- ・本日アンケート掲載の形式に変更があったので、再度見積もりを依頼する。
- ・名簿と同時に確認する(年内締切)各館の必要冊数によって、部数を確定する。
- ・執筆担当者は原稿を1月中に提出して欲しい。

②中田委員長より、PDF化についての報告があった。

- ・印刷業者には過去のデータはないとのことなので、新たにPDF化するための見積もりを2社に依頼している。
- ・PDF化の作業として、冊子を裁断する方法が可能かどうか、残部の有無を確認する。各館で予備があるようなら連絡して欲しい。
- ・PDF化したデータの扱いについては今後の検討事項とする。

次回、第6回運営委員会は、2014年2月24日(月)14時から、名古屋学院大学さかえサテライトにて開催する。

以上

記録者：山田